

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年5月9日(2019.5.9)

【公開番号】特開2017-196305(P2017-196305A)

【公開日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-042

【出願番号】特願2016-91600(P2016-91600)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 W

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月19日(2019.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼を検査する眼科装置であって、

前記被検眼を検査するための検眼手段と、

前記被検眼に対して前記検眼手段を相対移動させる駆動手段と、

左右の被検眼のうち少なくとも一方を含む顔を撮影する顔撮影手段と、を備え、

前記顔撮影手段の撮影光軸は、前記検査光学系の検査光軸よりも左右のいずれかにずれた位置に配置されることを特徴とする眼科装置。

【請求項2】

被検者の顔を支持する顔支持手段をさらに備え、

前記顔撮影手段は、機械中心よりも左右のいずれかにずれた位置に前記検眼手段が移動された場合、前記顔支持手段によって顔を支持された被検者の右眼と左眼との間に位置するように設けられることを特徴とする請求項1の眼科装置。

【請求項3】

制御手段をさらに備え、

前記制御手段は、前記顔撮影手段によって撮影された顔画像に基づいて前記被検眼の位置座標を検出し、前記顔画像の歪みに応じて前記位置座標を補正することを特徴とする請求項1または2の眼科装置。

【請求項4】

前記制御手段は、

前記駆動部を制御し、左右の被検眼のいずれかを測定するために設定された初期位置に検眼手段を移動させ、

前記顔撮影手段を制御し、前記検眼手段が前記初期位置にある状態において左右両眼を含む顔を撮影させることを特徴とする請求項3の眼科装置。

【請求項5】

被検眼を検査する眼科装置であって、

前記被検眼を検査するための検眼手段と、

前記被検眼に対して前記検眼手段を3次元的に相対移動させる駆動手段と、

左右の被検眼のうち少なくとも一方を含む顔を撮影する顔撮影手段と、を備え、

前記顔撮影手段は、魚眼レンズを備えることを特徴とする眼科装置。